

2025 年 6 月 定例市長記者会見

日時：2025(令和7)年6月6日(金) 午前11時

場所：郡山市役所本庁舎2階 特別会議室

次 第

【項目一覧】

1 開 会

(1) 令和7年度6月補正予算の概要

別冊

2 項 目

(2) リチウムイオン充電電池等の拠点回収及び再資源化事業

資料2

3 質 問

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社

・朝日新聞 ・テレビユー福島

(3) 東北学院大学大学院 経済学研究科との連携協定締結

資料3

4 その他

5 閉 会

リチウムイオン充電電池等の拠点回収及び再資源化事業

12 つくる責任
つかう責任



2025年 6月 定例市長記者会見
資料2 環境部 5 R 推進課
資源循環課

1 概要

- ・開始日…令和7年6月16日（月）
- ・場 所…公共施設20箇所
- ・内 容…リチウムイオン充電電池等の回収（拠点回収）の実施及び再資源化

① 背景

- ・近年、全国の一般廃棄物処理施設や収集運搬車両等において、リチウムイオン充電電池等に起因する火災事故が多発しており、本市においても同様の火災事故が多発している。
- ・環境省から、2025（令和7）年4月15日付けでリチウム蓄電池等の適正処理について通知された。

② 回収拠点：公共施設20箇所

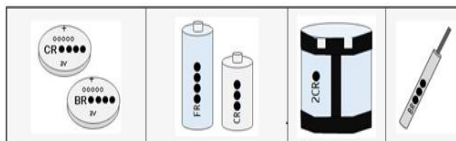
- ・各行政センター14か所（連絡所を除く）
- ・郡山市民サービスセンター
- ・緑ヶ丘市民サービスセンター
- ・中央公民館
- ・富久山クリーンセンター
- ・河内クリーンセンター
- ・5 R 推進課

③ 実施方法

各施設開庁時間内（※）に対面方式で充電電池等を受け取り、専用ボックスに保管する。
（※中央公民館は8:30～17:15）

2 回収する電池の種類

①リチウム電池



②ボタン型電池

品番の記号が
「SR」（酸化銀電池）
「LR」（アルカリ電池）
「PR」（空気亜鉛電池）



③充電式電池



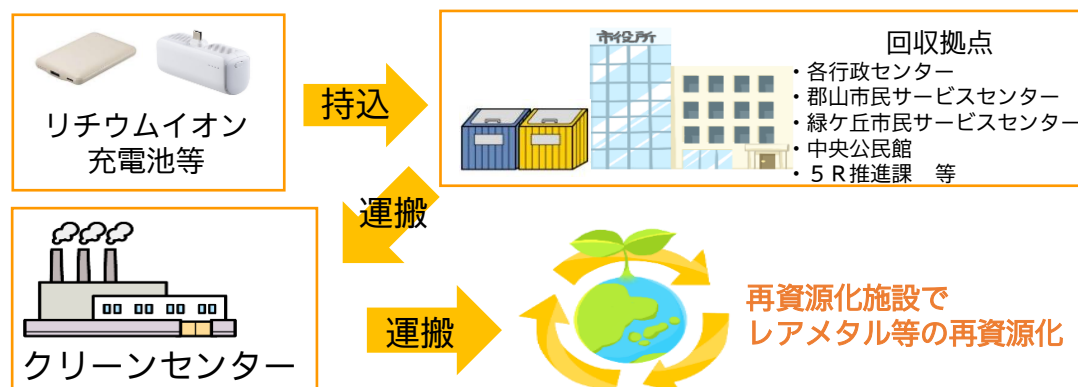
リチウムイオン
充電電池
ニカド電池
ニッケル水素
電池

※回収できないもの



- ・ポータブル電源
- ・鉛蓄電池
（車やバイクの
バッテリー等）

3 回収の流れ



期待される効果

- ①ごみ集積所、ごみ収集車及びクリーンセンターでの火災被害予防
- ②レアメタルの再資源化
- ③環境負荷の軽減・市民の処分費用負担の軽減

東北学院大学大学院 経済学研究科との連携協定締結



2025年6月 定例市長記者会見
資料3 政策開発部政策統計課

1 協定の概要

- 目的**
- データ分析を通じた郡山市の地域経済活性化
 - 根拠に基づく政策立案（Evidence-Based Policy Making）の推進

- 連携事業**
- 郡山市のデータ分析に関する事業
 - 根拠に基づく政策立案推進に関する事業
 - その他目的を達成するために必要と認められる事業

2 東北学院大学概要

2025年度から大学院経済学研究科に「経済データサイエンス専攻」を新設し、データ人材育成と地域分析を行う

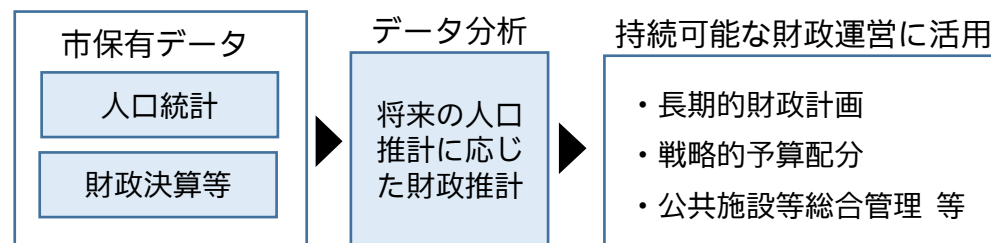
- 創立
1886年（大学設置1949年）
- 学長
大西 晴樹
- 在学者数
11,528人（2024.4現在）
- 北関東以北に本部を置く
私立大学では最大規模、
入学者の95%以上は東北出身者
- 2027年度 2学部新設予定
「未来探究科学部」
「教育学部」

学部	文学部	文学研究科	英語英文学専攻
	経済学部		ヨーロッパ文化史専攻
	経営学部		アジア文化史専攻
	法学部	経済学研究科	経済学専攻
	工学部	経営学研究科	経営学専攻
	教養学部	法学研究科	法律学専攻
	地域総合学部	工学研究科	機械工学専攻
	情報学部		電気工学専攻
	人間科学部		電子工学専攻
	国際学部	人間情報学研究科	環境建設工学専攻
			人間情報学専攻

3 データ分析事項

○テーマ：将来の財政推計

郡山市が保有するデータを、経済学とデータサイエンスの手法を組み合わせる分析



4 協定締結式

日時 2025年6月10日（火）14時30分

場所 郡山市役所 庁議室

出席者

東北学院大学
大西 晴樹 学長
篠崎 剛 教授（大学院経済学研究科長）
アレイ ウィルソン 教授（大学院経済学研究科
経済データサイエンス専攻主任）

郡山市
市長 椎根 健雄
政策開発部長 宗形 敏広